





研究者名※	和田上 貴昭 WADAGAMI Takaaki	学位※	修士(社会福祉学)
所属※	家政学部 児童学科	職名※	准教授
連絡先	wadagamit@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/geschichite2020		
研究分野※	社会福祉学		
研究キーワード※	子ども福祉、家庭福祉		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所を利用する外国にルーツをもつ親への支援プログラムの開発(科学研究費・基盤研究C・研究代表者・2019～2023年) ・親の懲戒行動の解析に基づく愛着臨床アプローチの再構築に関する研究(科学研究費・基盤研究B・研究分担者・2017～2020年) 		
社会貢献・産学官連携活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人 鉄研舎 理事(2017年～) ・社会福祉法人 愛隣会 理事(2019年～) ・社会福祉士試験委員(2019年～) ・東京都福祉サービス評価推進機構評価・研究委員会 児童ワーキング委員(2019年～) ・児童養護施設東京育成園苦情解決委員会第三者委員(2017年～) 		
受賞歴			

研究領域	子ども福祉、家庭福祉	 
研究テーマ※	外国にルーツをもつ親の養育行動と環境	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 外国人労働者の生活支援に対して、日本ではこれまで積極的な取り組みを行われてこなかった。そのため彼らの生活に対する保障は不十分な状況にある。特に子育て環境や子ども達の進路選択に悪影響が生じており、支援の必要性が指摘されている。外国にルーツのある方の養育にはその人の育ちの中で得た価値観(養育観)が反映されていることから、彼らの養育行動とその背景を踏まえた支援が必要であると考えられる。本研究では当事者の状況について調査し、日本における子育て上の課題について明確にすることを目的としている。</p> <p>【応用例、研究の展望】 日本における子育てのしにくさおよび、それに対する支援方法について明確にすることは、外国ルーツの方だけでなく、他の子育て家庭においても有効であると考えられる。また彼らへの支援方法は、今後の外国人労働者の増加に伴う多文化共生社会における示唆にもなると考えられる。</p> <p>【研究方法の特色】 ・海外で暮らす日本人への調査との比較から日本社会における子育て環境についての検討も行っている。</p>	
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・和田上貴昭ほか(2019)保育所における外国にルーツをもつ子どもの親支援に関する研究, 保育科学研究(日本保育協会)9, 44-51 ・和田上貴昭(2021)外国にルーツのある保護者への支援 保育所保育士の調査から, 子ども家庭福祉学(日本子ども家庭福祉学会)21, ・和田上貴昭(2022)子育てに養育環境が与える影響 ドイツ在住日本人女性へのプレ調査, 日本社会事業大学研究紀要(日本社会事業大学)67, 	
共同研究・外部機関との連携への期待	・保育所等における外国ルーツ家庭への支援マニュアルの作成 等	